

社会貢献活動

「育てること(育成)」「続けること(継続)」をコンセプトに社会貢献活動に取り組み、豊かで安心感あふれる生活・社会づくりを推進します。

社会貢献活動の取組方針

当社は、「社会貢献活動の取組方針」を制定し、社会貢献活動を継続的に展開しています。

基本的な考え方

第一生命は、社会性・公共性の強い生命保険事業を通じて、豊かで安心感あふれる生活・社会づくりに努めており、自らが地域社会の一員であることを意識し、ともに「良き企業市民」として発展することを目指しています。

取組内容

- 1 社会貢献活動の分野は「健康・福祉」、「生活環境」、「教育・調査」、「地域社会貢献」、「芸術・文化」、「スポーツ」の6つとします。
- 2 社会貢献活動の基本コンセプトは「育てること(育成)」、「続けること(継続)」とします。
- 3 時代の要請を反映しながら、社会貢献活動の「振り返り・見直し」を定期的に行い、さらに付加価値の高い活動を目指します。

健康・福祉

生命保険会社の使命として、人々の健康や福祉の向上に貢献すべく取り組んでいます。

■ 保健文化賞

戦後の混乱期、保健衛生の思想や施設が悪化している中であって、それらの向上に取り組む人々に感謝の意を捧げるために創設しました。昭和25年の創設以来、毎年実施され、平成21年で第61回を迎えました。毎年秋に贈呈式を行い、受賞者は翌日皇居に参内して天皇皇后両陛下に拝謁を賜っています。



第61回保健文化賞贈呈式

the Voice

第61回保健文化賞受賞者の声

**受賞を重く受け止め、
精進していきます**

福田眼科病院離島診療チーム
福田 量様



私は、昭和38年から友人と離島で眼科無料診療を始め、昭和60年からは福田眼科病院離島診療チームとして、無料診療を行ってきました。その後、耳疾患を職業病とする海士が多いため耳鼻科医の同行や、小値賀島での無料診療等活動を広げています。診療のたびに島民の待ちわびた熱気を肌で強烈に感じ、スタッフ全員が急造の検診会場をいつもより生き生きと駆け回る姿は、目を見張るものがあります。今や私どもの離島診療は、改めて医療の原点を考える最高の研修の場であると思っています。

今後とも受賞者の皆さまとともに、今日の受賞の意味と責任を重く受け止め、目指す目標に向かい、一歩前進のさらなる決意を新たにしたいと思います。

Web 保健文化賞

■ 財団法人心臓血管研究所

循環器疾患の研究・予防・診断および治療を目的として昭和34年に設立しました。以来、循環器疾患に関する多くの研究論文を発表し、治療成績の向上に寄与しています。特に近年は、併設する付属病院の豊富な臨床例をデータベース化し、循環器医療が解決すべき課題の明確化と、新たな医療の開発を推進しています。また、高度で先進的な医療を提供すべく、付属病院には循環器疾患を専門とするスタッフを配置しています。

■ 財団法人姿勢研究所

姿勢と健康のもつ意義と重要性を広く人々に啓発するなどの公益活動を通じ、国民の健康と福祉に貢献することを目的に昭和41年に設立しました。機関誌を年2回発行しています。



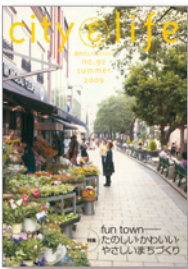
機関誌「POSTURE」

生活環境

潤いのある生活環境を目指し、人々が暮らしやすい社会づくりのための調査・研究に取り組んでいます。

財団法人第一住宅建設協会

居住環境の整備や住生活の向上に関する調査研究と啓発を目的に昭和30年に設立しました。機関誌を年4回発行しています。



機関誌「city&life」

財団法人地域社会研究所

「近代的地域社会」という概念の普及および調査・研究を行い、社会の発展に寄与することを目的に昭和38年に設立しました。機関誌を年2回発行しています。



機関誌「The Community」

教育・調査

生命保険の普及と発展を願い、教育・調査活動を推進しています。

産学連携による寄付講義・共同研究

平成19年度より、一橋大学大学院商学研究科MBAコースに寄付講義を提供するとともに産学連携の共同研究を継続しています。平成21年度は「保険とリスク管理」を開講し、当社グループ役職員を講師として派遣しています。

また、平成20年度より、損害保険ジャパンと共同で明治大学法科大学院にて「保険法」の寄付講義を提供しています。平成20年12月には「新しい保険法と市民生活」と題する公開シンポジウムが開催されました。



寄付講義（一橋大学）

消費者問題研究会の開催

専門分野の有識者が集い、企業の消費者対応のあり方やお客さま本位の経営のあり方などについて意見交換を行うことを目的に、当社が事務局となり、昭和60年から継続して「消費者問題研究会」を開催しています。意見交換の内容は、小冊子にまとめて発行し、各地の消費生活センター、消費者団体等に提供しています。平成21年3月には第10次研究会のまとめ「きずこう消費者主役の新時代」を発行し、多くの反響をいただきました。



「きずこう消費者主役の新時代」

「ライフサイクルゲーム」による金融教育支援

財団法人消費者教育支援センターの「第4回消費者教育教材資料表彰」の「実験実習部門」で優秀賞を受賞した「ライフサイクルゲーム」を活用し、日本消費者教育学会などと連携した金融教育支援を行っています。このゲームは生命保険をはじめとする金融商品や契約に関する知識が学べるように工夫されたゲーム教材で、各方面から好評をいただいています。



日本消費者教育学会による学生セミナー

子どもたちへの経済教育―「ファイナンスパーク」への協賛

京都市教育委員会と経済教育団体「ジュニア・アチーブメント」の共催事業、中学生向け経済教育プログラム「ファイナンスパーク」に協賛しています。これは、仮想の街で1年間の生活設計や収支計算を体験するプログラムです。第一生命ブースでは、次世代を担う子どもたちに生命保険の仕組みや役割を分かりやすく伝えています。



ファイナンスパーク

財団法人矢野恒太記念会

第一生命の創立者である矢野恒太の事績を顕彰するため、創立50周年事業の一環として、昭和28年に設立しました。統計の普及・啓発事業、奨学金事業の運営、農業振興者の表彰など各種公益事業を行っています。中でも昭和2年発刊の「日本国勢図会」は、国内統計を総合的に収集したベストセラーで、教育分野をはじめ、一般教養書としても広く愛読されています。



「日本国勢図会」



「世界国勢図会」

地域社会貢献

全国で地域に根ざした社会貢献活動を推進しています。

「黄色いワッペン」贈呈事業

昭和40年、全国の新入学児童に交通事故傷害保険付きの「黄色いワッペン」を贈る事業として開始されました。当社は平成15年より参画し、現在はみずほフィナンシャルグループなど4社で実施しています。

平成21年は約120万枚が贈られ、これまで贈られたワッペンは累計で約5,500万枚に達します。



第45回「黄色いワッペン」贈呈式
終了後の交通安全教室

全国職員によるボランティア活動

地域社会の一員として、全国各地で職員がグループで清掃活動、チャリティバザー、募金活動等、自発的な地域社会貢献活動に取り組んでいます。平成20年度の実施件数は174件、のべ参加人数は約4万名となっています。

ボランティア活動への支援

職員による自発的な地域社会貢献活動を支援・推進するため、当社では平成4年度より「マッチングギフト制度」

を導入しています。この制度は、ボランティア活動で集めた募金等の金額に会社が一定額を上乗せし、ボランティア団体や施設に寄付するとともに活動経費を一部補助するものです。

平成20年度は、全国の91支社・部門でマッチングギフト制度が活用され、会社より約575万円の支援を行いました。

また、顕著な社会貢献活動を行った職員グループに対し、「社会貢献活動表彰」を実施しています。

全国各地でボランティアに取り組んでいます

平成20年度 社会貢献活動表彰 「ボランティア大賞」 渋谷総合支社

「緑のデザイン賞」(P29)の助成金でつくられた表参道駅前の緑地を、近隣支部の職員が受賞団体の方々とともに毎月2回清掃しています。当社の助成金でつくられた“街のみどり”を職員のボランティアが守っています。

また、毎年、全職員が一体となってチャリティバザーを開催しています。バザー会場には地域の障がい者施設の作品販売スペースも設け、当日は大盛況でした。



緑地の清掃活動

あしながPウォーク10・収集活動

○あしながPウォーク10

遺児学生らが全国47都道府県で開催しているボランティアウォークに参加しています。

<平成20年度> 18部門(1,070名)参加、487,700円寄付

○収集活動

全国各地で、古切手・使用済みプリペイドカードの収集活動に取り組んでいます。

<平成20年度>
・古切手の収集 125kg
・使用済みプリペイドカードの収集 約17万枚

芸術・文化

芸術・文化の発展を願い、良質な美術・音楽の提供および若い芸術家の育成に取り組んでいます。

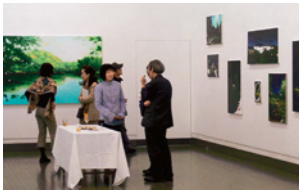
VOCA展・第一生命ギャラリー

平面美術の領域で将来性のある若手作家を育成し、美術界の活性化の一翼を担うことを目的とした「VOCA（ヴォーカ）展」(The Vision Of Contemporary Art-現代美術の展望)を第1回(平成6年)より支援しています。第16回を迎えたVOCA展2009では、全国各地から35名の力作が出展され、優秀作品には賞が贈られました。当社では、VOCA賞・VOCA奨励賞受賞作品を所蔵するとともに「第一生命南ギャラリー」(日比谷本社)で定期的に作品を公開しています。また、受賞作家の個展を開催し、受賞後の活動を支援しています。

「第一生命北ギャラリー」(日比谷本社)では、現代洋画界を代表する故脇田和画伯の作品を常設展示しています。南北いずれのギャラリーも入場無料で、一般の方々に気軽に美術鑑賞をお楽しみいただいています。



VOCA賞受賞作品『J』 三瀬 夏之介



第一生命南ギャラリー(日比谷本社)

第一生命ホール NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク支援

昭和27年以来、音楽・演劇・落語等を上演してきた旧第一生命ホールは、平成元年に本社社屋の改築に伴って一時閉館となりましたが、平成13年に東京・晴海に再興しました。同ホールの自主公演はNPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク(TAN)が企画・実施しています。TANは地域へ音楽をお届けするコミュニティ



第一生命ホール

活動も実施しており、TANを支援することで音楽を通じた地域社会貢献活動を展開しています。

日比谷本社 ロビーコンサート

日比谷本社では定期的に入場無料のロビーコンサートを実施しており、近隣のオフィスにお勤めの方々に気軽に音楽を楽しめる場を提供しています。

職員のボランティア活動と連携したアウトリーチ活動

TANでは、病院・福祉施設、小学校・幼稚園等に演奏家が出向いて日頃コンサートホールに足を運ぶことのできない方へ良質な生演奏をお届けする「アウトリーチ」活動を行っています。



保険金部によるアウトリーチ活動
(高齢者福祉施設)

平成20年度より、職員によるボランティア活動として、TANと連携の上、地域の福祉施設等へ音楽をお届けしています。

2度目の「メセナ大賞」受賞

社団法人企業メセナ協議会が主催する企業・財団の優れた芸術文化支援活動を顕彰する「メセナアワード2009」において、音楽分野の取り組みである「TANへの物心両面での支援」が評価され、最高賞である「メセナ大賞」を受賞しました。今回の受賞は、平成13年、民間ホールとしては先駆的なNPO法人による公演企画を開始し、多くの当社職員を含む個人会員、法人会員、市民サポーターならびに社内のボランティア等が同NPOを支えることにより、地域に根ざした音楽活動を着実に広げてきたことが評価されたものです。大賞受賞は、平成12年度の美術振興を目的とした「VOCA展の開催」に続き2度目となり、音楽・美術の両分野における活動が、それぞれ意義あるものとして高く評価されました。



スポーツ

次世代を担うスポーツ選手の育成を支援しています。

全国小学生テニス選手権大会

平成21年で第27回を迎える本大会に第1回(昭和58年)より特別協賛するとともに、当社所有のクレイコート(東京・仙川)を大会会場として提供しています。クレイコートはジュニアの試合では珍しく、世界に羽ばたく選手を育てる上で極めて有効との評価をいただいています。本大会からは杉山愛さん、錦織圭さんなど国際的に活躍する選手を多数輩出しています。

錦織圭選手も本大会出身です

現在世界で活躍中の錦織圭選手は、全国小学生テニス選手権大会の出身者です。小学4年生から3年連続でこの大会に出場し、小学6年生の第19回大会(平成13年)にて優勝を果たしました。錦織選手はこの大会の記念品のタオルを今でもとても大切にしており、北京オリンピックやデビスカップでも愛用していました。



錦織 圭選手

国際的な社会貢献活動

財団法人国際保険振興会(略称FALIA)

アジアを中心とした諸外国の保険事業の発展を目的に、国内および海外で保険事業関係者を招いてセミナーを開催しています。国内のセミナーの参加者は平成21年3月末で累計27カ国3,068名となっています。スター・ユニオン・第一ライフ(P14)社長のサハイ氏はじめ、多くのFALIA卒業生がそれぞれの国の生命保険事業の発展に貢献しています。

第一生命ベトナムの社会貢献活動

ベトナムでは所得の格差が拡大しており、貧困に苦しむ方が多くいます。第一生命ベトナムでは、平成21年3月、「ホーチミン貧困患者援助協会」の白内障手術への支援プログラムに、約500名の手術費用にあたる金額を寄付しました。同社の地域社会への貢献が高く評価され、ベトナム外国投資企業協会等が主催する「第1回ベトナム・ゴールデンFDI(外国直接投資)賞」を受賞しました。

これも第一生命

サラリーマン川柳コンクール

“サラ川(サラセン)”の愛称で親しまれている「サラリーマン川柳コンクール」を毎年実施しており、平成21年で23回目を迎えました。毎回、職場やご家庭などの日常生活の中で日頃感じている“喜怒哀楽”を、5・7・5の川柳にして全国より多数ご応募いただいています。入賞作はマスコミのニュースにも取り上げられ、世相を映すユーモラスな「鏡」として毎年話題となっています。



第22回第一位

しゅうち心 なくした妻は ポーニョポニョ
オー マイ ガット

夏休みこどもミニ作文コンクール

毎年多くの応募をいただいている「夏休みこどもミニ作文コンクール」は平成21年で27回目を迎えました。今回も、朝日学生新聞社とタイアップし、優秀作品は朝日小学生新聞で発表されています。このコンクールは、夏休みのご家族でのコミュニケーション促進のお役にも立っています。

